

令和 2 年（2020 年）9 月 2 4 日

越谷市総合振興計画審議会

会 長 石崎 一宏 様

都市基盤整備部会

部会長 中村 英夫

都市基盤整備部会審議結果について（報告）

都市基盤整備部会は、第 5 次越谷市総合振興計画前期基本計画（素案）第 4 章・分野別計画のうち、大綱 3「都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり」について、慎重に審議した結果、概ね妥当であると判断し、下記のとおり主な意見をまとめ、報告いたします。

また、当部会で出された意見につきまして、別紙一覧のとおり併せて報告いたします。

記

- 1 定住促進に関して、市民の定住志向を高めるため、本市の充実した都市基盤施設や自然との調和、さらには本市が有する地域資源、といった魅力の積極的な情報発信とともに、新たな魅力の創出に取り組むこと。また、市民と協働して景観資源に対する愛着の向上に取り組むこと。

このような取組みにより、新規転入者の定住増加を図ること。

2 道路の整備に関して、慢性的な交通渋滞の解消を図るとともに、事故が多発する路線においては、事故防止に必要な整備・改修を行い、構造上の課題の解決に取り組むこと。また、都市計画道路の整備に関して、計画的な推進に取り組むこと。

歩道の整備に関して、道路照明灯の設置や無電柱化、バリアフリー化により、子どもから高齢者、障がい者など全ての歩行者が安全、安心、快適に通行できる環境の整備に取り組むこと。

3 緑化の推進に関して、子どもから高齢者まで多世代が集う公園に木陰をつくとともに、公園・緑道だけでなく、街路樹などの街なかの緑地を含めた一体的な緑地空間の整備に取り組むこと。

4 空き家等対策に関して、少子高齢化の進行に伴う空き家等の増加を想定し、高齢化社会に対応した的確な対策の推進に取り組むこと。

以 上

No.	大項目	中項目	頁	意見
1	3-1		64	指標「定住したいと思う人の割合」について、「住み続けたいか」という問いではなく「楽しく過ごせる」という問いの方がよいのでは。
2	3-1		63	めざす姿の「誇りを持つ」という部分について、市民によって地域への関わり方について差がはっきりとしている。新しい住民の自治会加入率も低く「誇り」ということに良いイメージが持てない。市民が越谷市に愛着をもって生活できるような内容を入れるべきでは。
3	3-1		63	道の駅のような新たな施設を有効活用して、地場野菜や特産品の販売等を行い、市の魅力を発信するとよいのでは。それによって収益が出ることで市の発展に繋がると思う。
4	3-1		63	新型コロナウイルスの収束後を見据え、身近で快適な環境づくりへの取組みを進めていければよいと思う。
5	3-1	313	66	愛着に繋がるものとして、「景観資源」について、大相模調節池や能楽堂などの資源の愛称を募る取組みを行ってはどうか。
6	3-1		63	もともと越谷市に住んでいる人と、大人になってから新しく住み始めた人では定住意向に差があると思う。新しく住み始める方にとっての定住の考え方について深掘していければよいと思う。
7	3-1	311	65	「地域特性に応じた土地利用の推進」において、近隣市と比べ、大きな病院が市の中核にあること、レイクタウンがあることは大きなセールスポイントであり、流動する人口を越谷市に定着させることに繋がると思う。新たなサンシティの整備も含め、持っている資源をアピールしていくといいのでは。
8	3-1	312	65	「サンシティの整備」について、具体的な計画や整備に向けた検討状況を記載すべきでは。指標についても記載すべきだと思う。
9	3-1		63	「めざす姿」について、大項目の「生活の質が高く」という部分に繋がる内容が必要なのでは。
10	3-2		67	大綱3では、4次と比較して「集約と連携」という言葉が加えられている。その視点で、地域を支える道路、鉄道、公共交通の役割及び、「生活の質」の側面における駅周辺のまちづくりについて検討が必要だと思う。
11	3-2		67	「慢性的な交通渋滞」について、レイクタウン地区のことであれば、「都市景観大賞を受賞したレイクタウン地区」という説明を入れてほしい。
12	3-2		67	めざす姿の文章中で、最後に「特に越谷レイクタウン駅から蒲生柿木川戸線などの幹線道路に繋がる路線の狭隘部分を解消し、路線バスによる公共交通網の拡充を図る」を加えたい
13	3-2		68	安全という観点で、「事故の多い道路の整備・補修」を付け加えていただきたい。信号は難しくても、せめて段差をつけてスピードを落とすなどの対応はしてほしい。また、「電灯による明るい道路づくり」をあげていただきたい。
14	3-2	321	69	都市計画道路について、計画決定されているのに整備が進んでいない。計画的に推進してほしい。

No.	大項目	中項目	頁	意見
15	3-2	322	70	「安全性の高い道路空間の維持」について、車いすにも配慮した道路が必要である。例えば、歩道整備、段差、電柱の民地への移動などである。車いすユーザーに対して優しい道路を造るという文言を入れてほしい。
16	3-2	322	70	「安全性の高い道路空間の維持」について「通学路の安全」という視点を入れてほしい。
17	3-3		72	「市民一人当たりの都市公園面積」の指標について、今後人口減少していく中で、目標値は公園を増やさなくても達成されると思う。目的が、公園を増やすことなのか、それとも今のまま維持していくのか、もう少し具体的に見えるとよい。
18	3-3	331	73	市内の街路樹の剪定について、強剪定が目立つ。落葉樹は落葉は多いが、夏は木陰になる。地域も木陰や景観の面で受益を得ているので、市民が掃除をすることも考えられるのでは。街路樹も含めた緑の整備について記載してほしい。
19	3-3	331	73	街中と公園で分離された緑化を行うのではなく、街中を歩き回れるような空間づくりを、緑を通して行うことを記載したい。
20	3-3	332	73	332の「誰もが利用しやすく安全な公園をつくる」という部分で、「泥んこパーク」という子どもたちが何にもないところで泥んこ遊びをする公園があるが、日影がない。できればそういう子どもたちが多く遊ぶ場所に木陰になる木があるとよい。
21	3-3	331	73	331の指標「保存・樹林・樹木の指定箇所数」について、樹木の持ち主がその樹木を存続していくための補助について検討が必要であると思う。
22	3-3	331	73	公園などの公的な場所だけでなく、住宅地の緑化についても考えていくべきではないか。市で基準があれば推進してほしい。
23	3-3	332	73	公園内の遊具、ベンチなどの施設の故障に関して、補修に努めてほしい。
24	3-4		75	異常、非常といった線状降水帯というものが毎年発生している状況を踏まえ、越谷の場合も利根川決壊を想定した浸水マップを作成していると思うが、「備える」よりも強烈な表現を入れたほうがよいのでは。
25	3-5	351	81	空き家対策について、高齢化の状況を踏まえ、市として空き家を譲り受けたり、集約するなどの取組みができるとよい。
26	3-5	351	81	空き家等対策について、空き家による衛生面、火災、事件等の問題に関して不安をもっている住民もいるため、市の具体的な取組み内容を示してほしい。
27				例えば「道路を整備する」という取組みにおいては「バリアフリー」や「健康」など多面的な影響があると思う。単独の取組みだけではなく、その他の分野との関連性について記載があってもよいのでは。
28				都市基盤をつくるときに、市がどのようにインカムをするのか、どこにどんな都市機能があったらいいのか、産業や就労機会を生むエリアはどこなのか、その点も記載があればよいと思った。